

様式第 2 号（第 8 条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 30 年度第 1 回ひたちなか市環境審議会
開 催 日 時	平成 31 年 3 月 22 日（金）14 時 00 分～15 時 45 分
開 催 場 所	ひたちなか市役所第 3 分庁舎 2 階防災会議室 2
出 席 者	委員（者）氏名 鈴木委員，間瀬委員，黒澤委員，阿部委員， 佐藤委員，菊地委員，田所委員，富手委員， 高仲委員，小川委員
	担当部課職員職氏名 海埜経済環境部長， 大和田環境保全課長， 桐原環境保全課長補佐， 小沼環境対策係長，布施環境保全係長， 島木環境対策係主幹，大和環境保全係主幹
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	ひたちなか市環境審議会委嘱状交付式次第 1 委嘱状交付 2 市長挨拶 ひたちなか市環境審議会次第 1 開会 2 会長・副会長選出 3 会長挨拶 4 審議会設置条例及び運用規定説明 5 審議事項 ・地域再生計画の中間評価について 6 報告事項 ・ひたちなか市環境報告書について 7 その他 8 閉会
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
傍 聴 者 の 数	0 名
会 議 資 料 の 名 称	・ひたちなか市環境審議会委員名簿 ・ひたちなか市附属機関の設置に関する条例 ・ひたちなか市環境審議会運営規程 ・ひたちなか市第 2 次環境基本計画（改訂版） ・ひたちなか市第 3 次エコオフィス計画 ・平成 30 年度ひたちなか市環境審議会事務局名簿
会 議 録 の 作 成 方 法	要約方式
そ の 他	

審議内容（発言者，発言内容，審議経過，決定事項等）

市長	<u>ひたちなか市環境審議会委嘱状交付式</u> 1 委嘱状交付 2 市長挨拶
事務局	<u>ひたちなか市環境審議会</u> 1 開会 2 会長・副会長選出
会長	3 会長挨拶
事務局	4 審議会設置条例及び運用規定説明
事務局	5 審議事項 ・地域再生計画の中間評価について →地域再生計画の中間評価について，パワーポイント を使用し説明した。 (以下，質疑応答)
委員	平成 29 年度までの汚水処理人口普及率は算出されている が，平成 30 年度の汚水処理人口普及率は，まだ出ないのか。
事務局	平成 31 年度に入ってから，平成 30 年度の結果を集計して， 汚水処理人口普及率を算出します。
委員	合併浄化槽の補助金を市民に対してどのように周知してい るのか。

事務局	<p>市報及びホームページで周知しています。また，早戸川流域の津田・市毛地区については，戸別訪問にて，補助金パンフレットを活用した単独浄化槽から合併浄化槽への転換促進を行いました。（津田地区戸別訪問数：538 世帯，市毛地区戸別訪問数：67 世帯）</p>
委員	<p>早戸川の採水調査地点は，小高橋以外では，上流にある那珂市との境界付近も含めて，どこで採水調査を行っているのか。</p>
事務局	<p>早戸川の採水調査地点は，合計 7 地点あります。市内の採水地点の最上流は睦橋であり，最下流は小高橋であり，どちらも環境基準点です。早戸川の上流域では，BOD の値は低いが，中流域，下流域になると，段階的に高くなり，最下流の小高橋では最も BOD の値が高くなります。汚濁負荷の明確な原因は特定されていないが，津田地域の生活排水が，早戸川の支流であるおさえん川に流れ込むことが，下流で汚濁負荷が大きくなる原因のひとつと推定されます。</p>
委員	<p>畜産農家なども原因として考えられるか。</p>
事務局	<p>この流域に，畜産農家はないことから，原因ではないと考えます。</p>
委員	<p>下水道整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画整備延長 3,900m に対して，最終実績見込 3,000m でありながら「概ね予定通り進捗している」との評価は，何故なのか。計画の 1/4 は整備されないことになるが。 (担当課に詳細を聴取し，後日回答とした。) ・H27～29 までの実績整備量 1,908m に対する事業費が 283,292 千円，H30～31 までの年度計画 951.1m に対する事業費が 87,208 千円とあるが，整備量が約 1/2 に対して事業費が 1/3 となるのは何故か。 (担当課に詳細を聴取し，後日回答とした。)

委員	早戸川について、BODを75%値で評価している理由は。
事務局	環境省の評価基準になります。
委員	汚水処理人口普及率が年々上昇しているにもかかわらず、合併浄化槽の普及率が微減になっているのは何故か。
事務局	下水道整備が進捗していることにより、合併浄化槽から、下水道への切り替えも同時に進んでいるためです。
会長	下水道に関する質問の回答については、後日事務局から報告があるとして、事務局案のとおり了承するとしてよいか。 (意見なし。)
事務局	<p>6 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなか市環境報告書について <p>→平成 29 年度のひたちなか市の環境の概況についてパワーポイント等を使用し説明した。</p>
委員	<p>早戸川の水質について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚濁している小高橋地点と小高橋上地点の間で、河川の汚濁の原因となる排水の流入などはあるのか。あれば、そこ(の施設等)で対応すれば汚濁が改善されると思うが、もしないとすれば、なぜそこだけ汚濁しているのか。
事務局	<p>委員ご質問の 2 地点の間に、汚濁の原因となるような排水の流入は、実態調査の結果、確認できませんでした。また、排水流入には、許可が必要だが、その点からも確認できませんでした。</p> <p>その中で汚濁の原因として考えられるのが、川の形状です。この地点の形状は、治水用の堰が多く存在し、河川の水の落としこみの回数が増えている状況にあります。汚濁の原因のひとつとして、断定はできないが、考えられます。</p>

委員	<p>今後、どのような調査を考えているか。地域の住民と一緒に取組めるようなことはあるか。</p>
事務局	<p>原因が不明な中で、地域の方にお問い合わせすることは、お示しできない状況です。</p> <p>市としては、この4月から、汚濁を示す指標であるBODの、更なる詳細調査を進めることとなっています。</p>
委員	<p>小高橋の下流（那珂川まで）の汚濁状況は把握しているか。</p>
事務局	<p>那珂川の河口付近まで、実態調査は行いましたが、調査地点がないため、数値としては把握していません。</p>
委員	<p>自分も早戸川の川岸を歩いてみたが、原因らしきものは見当たらなかった。BODを測定するのは、当然必要だが、生物調査を行うなど、視点を変えて調査することも必要では。これは、参考意見。</p>
委員	<p>放射能の測定結果の公表は、どうなっているか。環境報告書には、掲載しないのか。</p>
事務局	<p>放射線の測定結果については、こちらの環境報告書に掲載しております。</p> <p>7 その他 特になし。</p> <p>8 閉会</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証明する。</p> <p style="text-align: right;">平成 31 年 3 月 29 日</p> <p>平成 30 年度第 1 回ひたちなか市環境審議会 会長</p>	